

まち普請 第1回 検討会 ~行政からの説明、Q&A

日時 H19.7.3(火) 14:00~14:00 場所 今コミ現地

出席者 市役所 木村、肥山、吉原 区役所 福野

今コミ 木村、滝川、徳留、近江、長野、熊倉、青木、片田、山口、三浦、飯村、鶴飼、長沼、村松

1. 行政からの説明……2次コンテストの要点の説明あり

創意工夫が重要

- ・住民のもつ発想、アイデア、ユニークさ
- ・グループでの費用、労力をどう負担したか
- ・施設の維持管理、運営の工夫
- ・こんなイベントをしてもっと多くの人に来てもらう様にしたい

地域まちづくりへの発展性

- ・どのように輪を拡げていくか。こういう仕組みづくりをしたと言う提案

実現性

- ・地域との合意形成をどうとったか

公共性

費用対効果

1次の提案よりも内容がズーとアップしていなければダメである。同じ図面では失格

金額も1次よりアップしてもかまわない

2. 助成金

30万円 8月23日までに申請のこと

コーディネーター以外の費用は Max20万まで、したがってコーディネーターを含めて Max30万円まで

決算時に領収書の添付が必要

グループ内の謝礼金、労力、交通費はダメ

飲食費は一切ダメ

3. コーディネーター

市から紹介してくれる(コーディネータとして登録してある)

費用はだいたい 1回3万円程度(2~3時間)

4. 2次提案の金額は提案時に見積書は不要

但し、パスして実施申請するときは見積書が必要。したがっていい加減で提出しないこと

5. 2次提案様式は8月頃に連絡する(ダウンロード可能)

設計基本図、施工図、その他資料2枚程度……まだ決まっていない

6. 行政の窓口は 市役所のまちづくり課(吉原さん)

必要に応じて市から区へ話す

7. 近隣自治会への話は行政も支援する

東急への話は行政としては微妙

8. 図面、鳥瞰図、CAD、イラスト、絵、模型等の紹介は行政からはむずかしい。グループで搜すこと

9 . 「提案検討会」はグループで自主的に開催し必要なら行政も出席する
市の関係機関なども口利きをする (EX 道路局 . . .)

10 . 「中間報告」

- 10月中頃
- 選考委員全員ではないが出席する
- 詳細は別途連絡する
- この会議は評価の対象にはならない

11 . 「現地調査」

- 選考委員全員が参加の予定
 - 2次提案書を良く読み込んでいるのでいろいろな質問がある
 - 見るポイントは各先生により違う
 - 地域住民がどのように入り込んでいるかなどをみる
 - やる気があるかどうかをみている
- * 今コミは
菜の花を咲かす、フェンスの工夫、パンジの植え込み、堆肥枠の整備
整備整頓 等を検討する必要あり

12 . 合格ライン

5グループくらいと考えて良い

(書記 村松)